



文化のパンフレット





ジョージアへようこそ!

歴史、伝統、世界遺産、音楽・ダンス、宗教などについてご説明します。

ジョージアでは、人類がアフリカ大陸からヨーロッパ大陸へ渡ったことを証明するドマニシ原人が発見されています。そして土地は大変肥沃です。

北は広大なコーカサス大山脈により寒気団から、南は小コーカサス山脈によって乾燥から守られています、気候区分は高山帯から亜熱帯、砂漠帯までがあり、他に類を見ないユニークな国土です。古代ギリシア話にあるジェイソンが黄金の羊の毛皮をアルゴ船で探す冒険にするジョージアが登場するなど、歴史が古く、ペルシャ、ローマ時代を経て近代に至るまで約8000年の歴史とそれに伴う物語があります。

現在のジョージアは、それらの歴史を経て、様々な魅力のある国として世界から注目されています。

古代の洞穴都市を訪問し古代人の世界にタイムスリップするのも面白いでしょう。はたまた、バレエ、オペラ、伝統舞踊、クラシック、ダンスを観賞するも良し、ジョージアの伝統的な料理に舌鼓をうったり、ワイン発祥の地としてのオーガニックなワインを楽しむなど、あらゆるシーンがあなたの心に永遠に残ることでしょう。





黄金の古代史

多くの国も同じように古い歴史があるでしょう。しかし、ジョージアほど歴史のある国は多くはありません、歴史は200万年も遡ります。

首都トビリシの南で発見された人骨は、約180万前のものと分かりました。それはアフリカからヨーロッパに人類が渡っていった大移動を証明する、ヨーロッパで唯一の痕跡です。地名をとって、ドマニシ原人と名付られ、人類学的、歴史的、生物学的にも貴重な発見と言えます。

古代コルキス王朝時代の黄金が数多く発掘され博物館に展示されています。(黄金ライオン像、金の装飾品、ベルト、冠など)。これらは、ギリシャ神話の中でも登場し、ジョージアの黄金伝説となっています。



ギリシャ神話「ジェイソンとアルゴ船の冒険」。神話によると、ジェイソンがアルゴ船で遠い黄金の国コルキスに黄金の羊の毛皮を探しに行くという冒険物語です。



宗教

ジョージアがキリスト教国となったのは西暦4世紀で、その最も古い国の1つと言われています。今日、国民の大部分はキリスト教徒（ジョージア正教）ですが、イスラム教徒、ユダヤ教徒とも互いに尊重し、平和に共存しています。トビリシ市内にはそれらの教会、モスクなど宗教的な建物が数えきれないほどあります。



教会と要塞

ジョージア教会建築は1600年に及ぶ伝統を持っています。それは国の最重要遺産として位置づけられています。ジョージアの聖職者たちを祀った霊廟建築でもあります。

ジョージアで発達した聖職者による建築の特徴は2つあります。ドーム構造とバシリカ構造です。バシリカの形態は、ローマとヘレニズム文化の影響を受けています。7世紀には、画期的に建築技術の進歩があり、多く建物が建築されました。

ムツヘタにあるジュヴァリ教会(Jvari)のデザインは、多くの建築家の見本となりました。8～9世紀は、ドーム構造の教会とバシリカ構造の融合体のような建築が盛んになりました。この種類の建築で最も有名な建物は、ドーム構造のヴァチュナジアニ(Vachnadziani)教会とグルジャアニ(Gurjaani)のクヴェラツミンダ(Kvelatsminda)教会です。この時期がジョージア正教の黄金時代として知られています。

教会建築の偉大な遺産の1つに、6世紀にアッシリアのヨセフ修道士によって設立され、11世紀にはジョージア正教の総本山となったアラヴェルディ(Alaverdi)修道院があげられます。

15～16世紀のころにカヘティ王国の国力がピークに達しました。その首都は王レヴァンが設立したグレミ(Gremi)でした。グレミの丘の上に立つ教会は城壁に囲まれ、修道院としての役割と他者の侵略を防ぐ役割を担っていました。

芸術的な大聖堂もジョージア大きな遺産です。グリゴル・グルジャヴァルサシュヴィリ(Grigol Guljavarsashvili)などジョージアの画家によって描かれた『柱』はとも興味を引くでしょう(XVII世紀)。

また、スヴェティツホヴェリ(Svetitskhoveli)教会とバグラティオン(Bagrationi)教会は高位の聖職者と王族の埋葬地でもあります。

トビリシから北へ車で行くとアナヌリ(Ananuri)教会がありフレスコ画を見ることが出来ます。



ヘヴスレティ(Khevsureti)スタイルと言われる塔が有名です。

バグラティ大聖堂

バグラティ(Bagrati)大聖堂(11世紀)はクタイシ(Kutaisi)のウキメリオニ(Ukimerioni)の丘にあります。大聖堂は、国王バグラット3世が君臨する1003年に建築されました。中世の教会建築の大傑作ですが、1692年、オスマン帝国の砲撃により丸屋根や天井が崩落しました。1994年ユネスコの世界遺産の登録を受けています。

ゲラティ複合体

ゲラティ(Gelati)修道院はジョージアで最重要な建築物の1つです。

ジョージアで最も偉大な国王・ダヴィッド4世(David the Builder)によって1106年創立されました。ここは、知的・文化的な中心として、学問所の機能があり、ジョージアを代表する科学者、神学者、

哲学者たちを輩出しました。素晴らしいモザイクと壁画が大聖堂の内部に保存されています。ダヴィッド4世も、ここに葬られています。1994年ユネスコの世界遺産に登録されました。

ヘルトヴィシ要塞

ヘルトヴィシ(Khertvisi)要塞は、ヴァルジア(Vardzia)へ行く途中、アハルツィヘ Akhaltsikhe から46キロメートル地点。ジャヴァヘティ(Javakheti)川とムトクヴァリ(Mtkvari)川の合流地点の岩の丘の上にあります。ヘルトヴィシ要塞は、独立のための多くの戦いとジョージア民族の名誉の象徴です。また、それはジョージア民族の強靱さと独立の象徴でもあります。

洞窟遺跡

世界で例の少ない洞穴都市の中でも、ジョージアのものは非常にユニークです。ウブリスツィヘ(Uplistsikhe)、ダヴィッド・ガレジャ(David Gareja)修道院、ヴァルジアの洞穴都市は、ユネスコ世界遺産リストに候補に挙げられています。

ウブリスツィヘはゴリから車で東へ10Km。ウブリス・ツィヘは『神の砦』という意味で、ムトクヴァリ川の岸を見渡している高い岩が多い急斜面にあります。

天然岩を削って造られ、洞穴の町の広さは8ヘクタールもあります。紀元前2000年～1000年から人々が居住していたと言われ、キリスト教以前の異教徒・多宗教時代の名残りのある建物も見られます。劇場やワインの醸造所のような部屋も発見されています。

ダヴィッド・ガレジャ修道院は、6世紀のガレジャ山麓に、アッシリアから伝道にやってきた13人の神父の中の1人、ダヴィッド・ガレジェリによって設立されました。彼らはメソポタミアの出身でした。ダヴィッド神父は多くの修道僧から尊敬され続けたのです。ここのフレスコ画も大変素晴らしいです。特に11～13世紀に描かれた黄金時代のフレスコ画は高く評価されています。

ヴァルジアの石窟修道院と石窟都市の建設は、タマル女王の時代(約1000年前)に遡ります。彼女の父、ギオルギ3世が創設し、タマル女王がその建設を続けて完成しました。多くのフレスコ画は12世紀初頭にさかのぼります。そして、今日まで小さなチャペル、鐘楼、秘密のトンネル、洞穴ならびに修道院から残っています。穏やかな田園地帯にある、この石窟遺跡は、あなたを歴史ロマンの世界へ誘うことでしょう。







ジョージア多声音楽 (ポリフォニー)

ジョージアの多声音楽(ポリフォニー)はコーカサスの山岳音楽として受け継がれ、伝統音楽となりました。その調和のとれた魅惑的な音楽は、2001年にユネスコ「世界無形文化遺産」として登録されました。その独特で調和のとれた多声音楽は何世紀も経った今でも変わりません。ギリシアの歴史家ストラボンは紀元前1世紀の戦場のジョージア人が歌った多声音楽の聖歌を記しています。歌は三つの違う音域から成り立ちます。その歌は全国の教会と修道院やタ方のトビリシの街角や、夏のさわやかな朝に牧場で聞こえてくるでしょう。ジョージアの伝統的な宴会スプラ(Supra)には欠かすことのできないものです。

バレエ

ニノ・アナニアシュヴィリ(Nino Ananiashvili モスクワのボルショイ劇場の元プリマ・バレリーナ)のジョージア復帰により、近年ジョージアのバレエは進化をとげています。そのパフォーマンスは最高レベルで、世界的に有名なジョージ・バランシン(George Balanchin)のような偉大なグルジアのダンサーによって振付けられる素晴らしいバレエをジョージアで見ることができるのは最高に幸せなことです。

ジョージアの民族舞踊

ジョージアの民族舞踊は大変有名で世界中で公演されています。

その特徴は、男性は高く飛び、空中で回



転、つま先立ちで勇敢さや技能をアピールし、女性は、背筋を伸ばし、腕を水平に伸ばして優雅さをアピールします。

ジョージア人は踊り好きで、ダンスフロアのあるレストランが多くあり、結婚式や宴会の時も欠かせません。

また、その民族衣装は、男性用は「チョハ」、女性ものを「カバ」と言います。

このような歴史ある独特のジョージア文化に、ぜひ触れてください。

訪問者向けの情報

ビザ要件

すべての訪問者はパスポートが必要です。パスポートの残存期間は少なくとも6カ月以上でなければなりません。

アメリカ、カナダ、日本、イスラエル、レバノン、ロシア、ヨーロッパ連合の国々、湾岸協力会議の国々など、トルクメニスタンを除くCIS（独立国家共同体）の国々はビザが要りません。

詳しくは、ジョージア外務省のウェブサイトを確認してください：www.mfa.gov.ge

到着

飛行機で

トビリシへの直航便はヨーロッパとアジアの多くの国から出ています。例えば：アムステルダム、プラハ、ミュンヘン、リガ、ウィーン、フランクフルト、ワルシャワ、イスタンブール、ドバイ、テルアビブ、アテネ、バクー、モスクワ、ローマ、エカテリンブルク、キエフ、ミンスク、アルマトイ、アスタナ、アクタウ、テヘラン、ウルムチなどです。

イスタンブールは、トビリシ国際空港を世界の主要都市に接続する主なハブ空港です。

バスで

主にトビリシ行きのバスは、毎日、バクー、イスタンブール、アンカラ、トラブゾン、エレバンとアテネから出ます。

電車で

ジョージアはアルメニアやアゼルバイジャンにつながる鉄道が走っており、バクーからの電車が毎日出発します。詳しい情報や時刻表については、次のウェブサイトを確認してください：www.railway.ge

海路で

ウクライナのイリチエフスクとオデッサの港からフェリーで来ることができます。

宿泊

トビリシやバトゥミはホテルのすべてのタイプがあって、四つ星ホテルもあり、普通の家庭的なホテルやホステルもあります。郊外でも朝食とベッドのある三つ星のホテルで泊まることができます。

料理

トビリシの多くのレストランでは、ジョージア料理とともにさまざまな国の伝統的な料理を提供します。一方、ほかの地方のレストランではジョージアの伝統的な料理を中心に提供されます。

気候

国土が狭小であるにもかかわらず、地方によって気候は大きく異なります。それはコーカサス山脈のおかげです。大コーカサス山脈は北方から来る寒気から、小コーカサス山脈は南方から来る乾いた空気からジョージアを守っています。平均気温は19度から22度で、冬はマイナス1.5度からプラス3度です。

通貨

主要通貨はジョージアのлари (GEL) で、1 ラリは100 テトリです。

1 ラリ=0.46 ユーロ、1 ラリ=0.60 ドル(2012年1月)。
大きなホテルではクレジットカードが使えますが、主要な都市を離れ地方に行く場合は確認が必要です。ATMは主要な都市で使えます。

電圧とプラグ

電圧は220ボルト、50ヘルツです。ジョージア全土でヨーロッパの標準的なプラグ(Cタイプ)が使用できます。

通信

ジョージアの国別局番は+995で、トビリシのエリアコードは322です。ジョージアの携帯電話会社は(GEO-CELL, MAGTICOM, BEELINE)の3社がほぼ全国をカバーしています。

また、訪問者へは無料でインターネットが提供され、多くのWi-Fiゾーンが利用できます。

健康

緊急の場合(救急車)の電話番号は112です。詳しい情報については、次のウェブサイトを確認してください：
www.georgia.travel



www.georgia.travel

Free hotline (24/7)

0 800 800 909

ジョージア政府観光局

住所: サナビロ ストリート4, 0105, トビリシ, ジョージア

電話番号: +995 322 436 999

ファックス: +995 322 436 085

info@gnta.ge